

奄美・沖縄世界自然遺産登録5周年！ 価値や魅力を再発見

世界が認めた「生物多様性」の宝庫

「奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島」は、ヤンバルクイナやイリオモテヤマネコ、ヒカゲヘゴやサガリバナなど、さまざまな動植物が数多く息づく豊かな「生物多様性」が認められ、令和3年7月26日に日本で5地域目となる世界自然遺産に登録されました。この地域には、世界でここにしかない固有種や絶滅危惧種が存在し、生物多様性の保全にとって極めて重要な地域となっています。

次世代へつなぐための取組

遺産地域の4島は、いずれも野生生物の生息・生育環境と人々の生活圏が近いことが特徴です。このかけがえない遺産価値を次世代へつなぐため、現在もさまざまな取組が行われています。

例えば、遺産地域の生き物の生存を脅かす外来種への対策や、生き物の捕食者となる飼猫などの適正飼育の推進、野生生物の飛び出しによる交通事故（ロードキル）発生防止の注意喚起、違法採取の未然防止に向けたパトロールなど、多くの関係者が協力して保全活動に取り組んでいます。

この貴重な自然環境を未来へ残していくためには、私たち一人ひとりがその価値を理解し、責任を持って行動することが重要です。遺産地域を訪れる際にも、地域を知り尽くしたガイドと一緒に散策することで、遺産の価値がより一層深く感じられるはずです。

4地域が那覇に大集合！ 記念イベントを開催します

世界自然遺産登録5周年を迎え、県では遺産の価値を次世代へと継承するため、イベントを関係機関との共催で開催します。

7月25日(土)、26日(日)は、世界自然遺産4地域(奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島)の魅力や環境保全の取組について紹介するほか、各地域の特産品を販売する物産展を那覇市内で行います。遺産登録日である26日には、4地域からゲストを招きシンポジウムを開催します。まだ遺産地域を訪れたことのない方にも、その地域の価値や魅力、保全の大切さが感じられるような内容をお届けし、遺産への理解を深めていただく機会を創出したいと考えています。皆さまのご来場をお待ちしています。



長尾橋からの風景(沖縄島北部)



仲間川とマングローブ林(西表島)



奄美大島、徳之島、沖縄島北部及び西表島
世界自然遺産登録5周年

遺産4地域合同物産展

登録5周年記念

まるごと世界自然遺産!

奄美・沖縄12市町村
アイランドマルシェ

7月 25日(土)・26日(日)
10:00~20:00 10:00~17:30

場所

琉球新報本社ビル、
パレット前広場、県民広場

写真提供：環境省沖縄奄美自然環境事務所

問い合わせ 自然保護課 電話：098-866-2243

